# コロナ禍における生活の変化(3)

- 「新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」からみる 生活行動の変化と地域間較差

生活研究部 主任研究員 井上 智紀 (03)3512-1813 tomoki@nli-research.co.jp

#### 1- はじめに

新型コロナウィルス感染症の国内における感染拡大が始まってから1年以上が経過した。この間、 弊社ではコロナ禍における様々な生活局面における意識や実態を明らかにするため、凡そ四半期ごと に「新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」」を実施し、結果を公表してきた。本稿では、昨年 12 月に公表した拙稿に引き続き、昨年9月以降のコロナ禍における生活行動とその変化の地域差に着 目し、買い物、食事サービス利用、働き方の3つの局面および生活時間について、感染拡大前(昨年 1月頃)との対比をもとに地域ごとの状況を概観していく。

#### 2--- 買い物行動の変化

#### 1 増加した買い物行動

感染拡大前(昨年1月頃)に比べて利用が増加した行動についてみると、第2回調査を実施した昨 年9月時点では東海および愛知県、南九州で「ドラッグストア」が、四国、北九州、南九州で「ネッ トショッピング」が、愛知県で「キャッシュレス決済サービス」が、それぞれ全体に比べ高くなって いる。また、第3回調査を実施した昨年12月時点では北陸で「デパートやショッピングモール」が、 北関東で「ネットショッピング」が、東京都で「キャッシュレス決済サービス」が、それぞれ高く、 第4回調査を実施した今年3月時点では北関東、東海で「ドラッグストア」が、四国で「デパートや ショッピングモール」が、東京都で「ネットショッピング」が、甲信越、北陸で「キャッシュレス決 済サービス」が、それぞれ高くなっている。

3時点間の変化に着目すると、北海道、北関東、東京都で「スーパー」が、北陸で「デパートやシ ョッピングモール」が、北関東で「ネットショッピング」が9月から12月にかけて増加した後、12 月から今年3月にかけて減少しているのに対し、甲信越、南九州で「スーパー」が、北関東、甲信越 で「ドラッグストア」が、東北、北陸で「コンビニエンスストア」が、四国で「デパートやショッピ ングモール」が、北九州、南九州で「ネットショッピング」が、東北、甲信越、愛知県、四国、北九 州で「キャッシュレス決済サービス」が減少した後、増加に転じている。また、北陸で「ネットショ

<sup>1</sup> 調査概要等、調査の詳細は弊社サイト内の特設ページを参照されたい。



ッピング」が、東京都、北陸、中国で「キャッシュレス決済サービス」が3時点間で一貫して増加す る一方、南九州で「ドラッグストア」が、四国で「コンビニエンスストア」が、それぞれ一貫して減 少しているなど、地域により、また時間経過に伴いそれぞれ動きが異なることがわかる。

図表 1 増加した買物行動

(単位·%)

							<u> (単位:%)</u>
				コンビニエンス	デパートや	ネット	キャッシュレス
		スーパー	ドラッグストア	ストア	ショッピング	ショッピング	決済サービス
					モール		
	9月	12. 7	11. 7	10. 6	4. 5	29. 3	33. 7
全体	12月	12. 1	11.1	10. 3	3. 2	31. 1	34. 2
	3月	11. 6	11. 3	11.0	4. 1	32. 9	38. 2 ↑
	9月	6. 4 ↑	5. 6	11. 2	4. 0	24. 8 ↑	33. 6
北海道	12月	11. 7	7. 5	11. 7	3. 3	28. 3	34. 2
	3月	7. 6 ↓	5. 1	12. 7	4. 2	30. 5	30. 5 ↓
	9月	12. 5	13. 4	12. 5 ↓	4. 5	29. 5	30. 4 ↓
東北	12月	7. 6	11.9	5.9	1. 7	27. 1	24. 6
	3月	9. 3	11. 9	11. 9 ↑	2. 5	27. 1	30. 5 ↑
	9月	9.9 ↑	12. 3 ↓	4. 9	2. 5	27. 2 ↑	32. 1
北関東	12月	13. 0	6.5	7.8	3. 9	36. 4	31. 2
	3月	8. 2 ↓	19. 2 ↑	12. 3 ↑	6. 8	30. 1 ↓	31. 5
	9月	11.8	10.8	10.8	3. 5	29. 6 ↑	32. 9
南関東	12月	13. 4	12.1	9.8	2. 6	33. 3	35. 2
	3月	11. 1	9. 2	10. 1	4. 0	35. 1	37. 7
	9月	10.8 ↑	7. 2 ↑	10. 4	2. 8	32. 3 ↑	35. 9 ↑
うち東京都	12月	13. 9	10.5	7.9	2. 2	35. 6	39.3
	3月	10. 5 ↓	8. 7	9. 8	4. 0	38. 2	42. 9 ↑
	9月	16. 2 ↓	13. 5 ↓	5. 4	2. 7	21. 6	33.8 ↓
甲信越	12月	8. 1 14. 5	8.1 ↑	4. 8	0.0	21. 0	25. 8
	3月	17.0	12.53	6. 5	0. 2	20.0	40.0
	9月	9. 1	9. 1	9. 1 ↓	6. 1 ↑	18. 2 ↑	27. 3 ↑
北陸	12月	11.8	11.8	5.9 12.8	11.8	26. 5 33. 3 ↑	38. 2
	3月	12. 8	10.3	12.0	0.0	00.03	01.0
<b>+ -</b>	9月	14. 7	16. 7	9.5 ↑	5.6 ↓	28. 6	34. 9
東海	12月	16.0	15. 6 17. 7	13. 2	2. 1 4. 3	30.5	35. 4
	3月	14. 7		14. 7		UT. 13	00. Z
こと平加目	9月	16. 1 15. 0	17. 4 15. 7	8. 7 ↑ 14. 3	6. 0 ↓ 2. 1	28. 2 28. 6	38. 9 32. 9
うち愛知県	12月		14. 3	12. 9	4. 3	34. 3 ↑	40. 0 ↑
	3月 9月	12. 1 16. 0	4.0.43	11. 6	6. 2	32. 2	37. 9
近畿	12月	16. 0 ↓ 11. 7	12.1 ↓	12.4	4. 7	32. 5	38.0
<b>近</b> 蔵	3月	12. 8	11. 2	10. 2	4. 7	33. 4	39.8
	9月		<del>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </del>	12. 0	4. 2	31. 1	35. 9
うち大阪府	12月	15. 6 ↓ 12. 0	12.0 ↓	11.4	3. 0	30. 5	36.5
ノラス版が	3月	14. 4	10.9	8.0 ↓	2. 9	31. 0	36. 2
	9月	10. 6	9.6 ↑	10.6	3. 2	22. 3 ↑	26. 6 ↑
中国	12月	9. 0	14.0	11.0	4. 0	29. 0	38.0
11.	3月	13. 2 ↑	15. 1	15. 1 ↑	3. 8	31. 1	41.5 ↑
	9月	12. 5 <u>j</u>	15. 0 <sub>1</sub>	15. 0 j	7. 5	35. 0	27. 5
四国	12月	6.5	8.7	10 9	0 0	32 6	21 7
- <b>-</b>	3月	9. 1	11. 4	6.8 ↓	9. 1	27. 3 ↓	34. 1 ↑
	9月	9. 6	4.8 ↑	13. 5	3. 8	34. 6	37. 5
北九州	12月	9. 8	12. 7	7.8	2. 9	25. 5	30.4
	3月	10. 5	12. 4	9. 5	3. 8	30. 5 ↑	47. 6 ↑
	9月	15. 7 <sub>I</sub>	17. 1	10.0	7. 1	34. 3	32. 9
南九州	12月	10. 3	8.8	11.8	7. 4	29. 4	30. 9
	3月	13. 3 ↑	5. 0 ↓	8.3 ↓	1. 7 ↓	33. 3 ↑	33. 3
A // =					•		

全体±5%pt以上に網掛け

9~12月、12~3月で±3%pt以上の差がある場合に数値右側に上下矢印

#### 2 減少した買物行動

感染拡大前(昨年1月頃)に比べて利用が減少した行動についてみると、第2回調査を実施した昨 年9月時点では東京都、愛知県で「デパートやショッピングモール」が、それぞれ全体に比べ高くな っている。また、第3回調査を実施した昨年12月時点では北海道で「スーパー」が、南九州で「ドラ ッグストア」が、東京都、北陸で「コンビニエンスストア」が、四国で「キャッシュレス決済サービ ス」がそれぞれ高く、第4回調査を実施した今年3月時点では東京都で「スーパー」が、北海道で「ド ラッグストア」が、南九州で「コンビニエンスストア」が、東京都、愛知県で「デパートやショッピ ングモール」が、南九州で「キャッシュレス決済サービス」が、それぞれ高くなっている。

3時点間の変化に着目すると、北関東、南関東および東京都、北陸、愛知県、で「スーパー」が、 東京都、北陸、愛知県で「ドラッグストア」が、北関東で「コンビニエンスストア」が、北九州で「デ パートやショッピングモール」が9月から12月にかけて減少した後、12月から3月にかけて増加し ているのに対し、大阪府、中国で「スーパー」が、北海道、東北、東京都、北陸、四国で「コンビニ エンスストア」が、北海道、甲信越、中国、四国で「デパートやショッピングモール」が、南九州で 「ネットショッピング」が、四国で「キャッシュレス決済サービス」が、それぞれ増加した後、減少 に転じている。また、四国の「スーパー」では3時点間で一貫して増加、南九州の「デパートやショ ッピングモール」では一貫して減少と、利用が減少した買物行動についても地域により、また時間経 過に伴いそれぞれ動きが異なっている。

#### 図表 2 減少した買物行動

(単位・06)

												<u>(単位</u>	: %)
						コンビニ	エンス	デパート		ネッ	<u> </u>	キャッシ	 ¬ レス
		スーパ	_	ドラッグ	ストア	スト		ショッピ モー/		ショッヒ		決済サー	
	9月	23. 7		20. 6		21.0		42. 1	<u>-                                      </u>	7. 4		5. 8	
全体	12月	22. 9		19.3		22. 3		44. 0		7. 2		5. 2	
	3月	24. 2		20. 6		22. 6		42. 1		6. 4		4. 8	
	9月	24. 8	1	24. 0		20. 8	1	33. 6	1	6. 4	1	6. 4	
北海道	12月	29. 2		23. 3	1	24. 2	<b></b>	45. 8	<b></b>	2. 5		4. 2	
	3月	26. 3		27. 1	ı	19. 5		36. 4	<u> </u>	3. 4		2. 5	
± ".	9月	19.6		16. 1		19.6	1	32. 1	1	9.8	ļ	8. 0	1
東北	12月	18. 6		18.6		23. 7	<b>↓</b>	36. 4		6.8		1.7	
	3月	20. 3 23. 5		20.3		17.8		33. 9		5. 9 7. 4		4. 2	
北関東	9月 12月	16.9	1	24. 7	1	24. 7 20. 8	1	44. 4 41. 6		5. 2		2. 5	
北渕果	3月	20. 5	1	16.4		26. 0	1	41. 0		8. 2	1	6.8	
	9月	28. 3	1	21. 8	1	22. 1		45. 6		6. 3		5. 9	
南関東	12月	23. 7	<u> </u>	18.7	↓	23. 9		46. 3		7.3		5.6	
HIAX.	3月	27. 2	1	21.5		20.0	$\downarrow$	44. 5		5. 1		4. 6	
	9月	30. 3	1	23. 9	1	21. 9	1	51. 4		6. 0		5. 2	
うち東京都	12月	24. 3		18. 7	•	28. 5		48. 7		7. 9		4. 9	
	3月	30. 5	1	22. 9	1	25. 5	1	49. 5		5. 5		4. 4	
	9月	20. 3	<b></b>	17. 6	1	17. 6	1	29. 7	1	9. 5	1	4. 1	
甲信越	12月	16. 1		14.5		14. 5		38. 7		4.8	······	4.8	
	3月	12. 9	1	12. 9		14. 5		35. 5	ļ	4. 8		0.0	↓
	9月	30. 3	1	21. 2	1	21. 2	1	36. 4	1	15. 2	1	9. 1	1
北陸	12月	23. 5	1	11.8		29. 4	1	44. 1		11.8		0.0	
	3月	28. 2	ı	23. 1	ı	17. 9	<u> </u>	43. 6		7. 7	<u> </u>	2. 6	
<b>+</b> •	9月	21.8		17. 5		21.0		46. 8		6.0		5. 2	
東海	12月	18. 9 22. 8	1	15. 6 18. 5	***************************************	20.6	••••	46. 5 46. 6	***************************************	7. 0 7. 8	***************************************	2.9 4.7	***************************************
	3月 9月	22. 8		19. 5		22. 4 23. 5		49. 7		7. 4		4. 7	
うち愛知県	9月 12月	15. 7	1	13. 6	ļ	16.4	Ţ	49. 7	1	7.1		3.6	
ノラを加示	3月	20. 0	1	17. 9	1	17. 1		48. 6		5. 7		5. 0	
	9月	20. 6	1	20. 1		20. 6		42. 0		8. 5		5. 7	
近畿	12月	25. 3	I	22.6		22. 1		44. 2		8. 2		6. 2	
	3月	23. 7		21.9		22. 7		42. 3		9. 4		5. 1	
	9月	21.0	1	19. 2		18. 6		41.3		11.4	1.	7. 8	
うち大阪府	12月	25. 7	<u></u>	19.8		19. 2		43. 1		7.8	<del>-</del>	6.0	
	3月	21.8	1	21. 3		20. 7		41. 4		10. 9	1	4. 6	
	9月	17. 0	1	19. 1		16. 0		36. 2	1	9. 6		4. 3	
中国	12月	23. 0	<b></b>	19.0		17. 0		45. 0	<b></b>	7.0		6.0	
	3月	19.8		18. 9		17. 9		41. 5		5. 7		6. 6	
	9月	17. 5	1	20.0		17. 5	1	35. 0	1	5.0		7. 5	1
四国	12月 3月	21. 7 25. 0	1	19. 6 15. 9	<b></b>	23. 9 18. 2	1	47. 8 36. 4	<b></b>	6. 5 0. 0	<b>\</b>	15. 2 6. 8	1
	<u>3月</u> 9月	23. 1		21. 2	•	21. 2	•	44. 2		5. 8	•	5. 8	•
北九州	9月 12月	23. 5		19.6		19.6		33. 3	1	7.8		4.9	
4676711	3月	24. 8		17. 1		23. 8	1	42. 9	1	9. 5		5. 7	
	9月	21.4		24. 3		21. 4		42. 9	1	8. 6	1	7. 1	
南九州	12月	23. 5		26.5		23.5		39. 7		11.8~		8.8	
	3月	18. 3	$\downarrow$	20. 0	Ţ	28. 3	1	31. 7	1	1. 7	Ţ	10.0	
<b>会体士504n+い</b>										,			

全体±5%pt以上に網掛け

9~12月、12~3月で±3%pt以上の差がある場合に数値右側に上下矢印

#### 3- 食事サービス利用の変化

#### 1 増加した食事サービス

感染拡大前(昨年1月頃)に比べて利用が増加した行動についてみると、第2回調査を実施した昨 年9月時点では大阪府で「デリバリー」が、北関東、甲信越、愛知県で「テイクアウト」が高くなっ ている。また、第3回調査を実施した昨年12月時点では東京都で「デリバリー」が、北関東、愛知県 で「テイクアウト」が、愛知県で「店内飲食」が、それぞれ高く、第4回調査を実施した今年3月時 点では北陸、中国で「テイクアウト」が高くなっている。

3時点間の変化に着目すると、愛知県では「デリバリー」で、北陸では「テイクアウト」で、それ ぞれ一貫して増加している一方、北関東の「デリバリー」、甲信越、中国、四国の「テイクアウト」、 北九州の「店内飲食」では9月から12月にかけて減少した後、12月から3月にかけては増加に転じ ている。

図表 3 増加した食事サービス

				D/4H O /C	~ .			(単	立:%)
		デリバリ	_	 テイクア	<b>ф</b> К	店内飲	合	オンラ	
					·		. 艮	飲み会・	食事会
	9月	14. 2		25. 2		5. 5		8. 0	
全体	12月	14. 7		24.6		5. 3		7.3	
	3月	14. 5		27. 4		4. 6		7. 6	
	9月	8. 0	1	17. 6		8. 0	1	3. 2	
北海道	12月	13. 3		18.3		3.3		5.8	
	3月	11. 9		28. 0	1	5. 9		7. 6	
	9月	16. 1		23. 2		3. 6		4. 5	
東北	12月	15. 3		21. 2	***************************************	1. 7		3.4	
	3月	14. 4		21. 2		2. 5		5. 1	
	9月	13. 6	1	30. 9		1. 2	1	3. 7	
北関東	12月	10. 4		29.9		7. 8	•••••	3. 9	
	3月	17. 8	1	28. 8		5. 5		8. 2	1
	9月	14. 9		25. 3		3. 5		10. 2	
南関東	12月	17. 0		27.4		5. 7		9. 6	
	3月	16. 4		28. 0		3. 7		8. 9	
	9月	14. 7	1	25. 5	1	3. 2	1	12. 7	
うち東京都	12月	20. 6		28.8		6. 7		12.0	
	3月	18. 5		28. 7		4. 4		10. 2	
	9月	9. 5		31. 1	1	2. 7		5. 4	
甲信越	12月	8. 1		16.1		1.6		3. 2	
	3月	3. 2	$\downarrow$	30. 6	1	1. 6		3. 2	
	9月	3. 0		15. 2	1	6. 1		12. 1	1
北陸	12月	2. 9		23.5		5. 9		5. 9	
	3月	2. 6		33. 3	1	2. 6	ļ	7. 7	
	9月	11. 1		29. 0		8. 7		8. 3	
東海	12月	13. 6		28. 4		9. 1		7. 0	
21411-2	3月	15. 1		29. 3		3. 9	ļ	7. 3	
	9月	7. 4	1	30. 9		8. 7		11.4	1
うち愛知県	12月	12. 9		30.0		10. 7		5. 7	<del>-</del>
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	3月	16. 4	1	26. 4	$\downarrow$	2. 9	$\downarrow$	8. 6	
	9月	18. 6		24. 7		7. 5		9. 5	
近畿	12月	16. 6		23. 1		5.0		8.4	
~_ ==	3月	14. 3		25. 3		6. 1		8. 4	
	9月	19. 8	1	21.6		6. 6		12. 0	1
うち大阪府	12月	16. 2	<b></b>	19.8		4. 2		7.8	<b></b>
ノラストラストリ	3月	13. 8		25. 3	1	9. 2	1	9.8	
	9月	16. 0		27. 7	Ţ	5. 3		6.4	
中国	12月	13. 0		21.0	<u></u>	4.0		8.0	
· =	3月	15. 1		35. 8	1	4. 7		6.6	
	9月	17. 5	1	20. 0	1	7. 5	1	10.0	- 1
四国	12月	10. 9	<u></u>	15. 2	<u> </u>	2. 2	<u> </u>	4. 3	↓
	3月	9. 1		20. 5	1	4. 5		0.0	1
	9月	12. 5		24. 0		6. 7		1. 9	
北九州	12月	12. 7		25.5		2.0	1	3. 9	
4676711	3月	12. 7		24. 8		7. 6	1	6.7	
	9月	11. 4		24. 3		7. 1		7. 1	<u> </u>
南九州	12月	10. 3		22. 1		8.8		2.9	<u> </u>
干リノレグロ	3月	18. 3	1	23. 3		6. 7		5.0	
	υН	10. کا	•	ا کا. ا		U. /		J 5. U	

全体±5%pt以上に網掛け

9~12月、12~3月で±3%pt以上の差がある場合に数値右側に上下矢印

#### 2 減少した食事サービス

感染拡大前(昨年1月頃)に比べて利用が減少した行動についてみると、第2回調査を実施した昨 年9月時点では東京都、北陸で、第3回調査を実施した昨年12月時点では北海道、四国で、それぞれ 「店内飲食」が高く、昨年12月の四国では「オンライン飲み会」も高くなっている。また、第4回調 査を実施した今年3月時点では北陸、愛知県で「店内飲食」が、北関東、四国で「オンライン飲み会」 が高くなっている。

3時点間の変化に着目すると、「店内飲食」は中国で一貫して増加する一方、北海道、四国では9月 から12月にかけて増加した後、12月から3月にかけては減少、北陸、北九州では減少した後、増加 に転じるなど地域により変化の方向性が異なっている。

図表 4 減少した食事サービス

				19KY C1		F, C/		(単位:%)		
		デリバ	11—	テイク	z 스 L	店内館	か合	オンラ		
			., —		7.7.		人及	飲み会・	食事会	
	9月	6. 0		7. 9		54. 4		6. 6		
全体	12月	5. 7		6.4		55. 3		6. 9		
	3月	5. 4		7. 3		55. 7		7. 2		
	9月	7. 2		8.8		45. 6	1	5. 6		
北海道	12月	9. 2	<b></b>	10.8	1	60.8	Ţ	5.0		
	3月	4. 2		4. 2		52. 5		2. 5		
まル	9月	6.3	1	8. 9 5. 1	1	50. 0 57. 6	1	9. 8 5. 1	1	
東北	12月 3月	2. 5 3. 4		10. 2	1	57.6		11. 9	1	
	9月	4. 9		4. 9		56.8		8. 6		
北関東	12月	5. 2		9.1	1	53. 2	<u> </u>	5. 2	1	
心因本	3月	9. 6	1	9. 6		52. 1		12. 3	1	
	9月	7. 1		8. 9		59. 2		6. 3		
南関東	12月	7. 6		7.5		58.6		7. 5		
113124214	3月	6. 1		7. 9		58. 7		6. 4		
	9月	7. 2		8.4		61.8		5. 6		
うち東京都	12月	7. 2 6. 7		6.4		60.3		7. 5		
	3月	6. 2		8. 4		58. 9		5. 5		
	9月	5. 4		5. 4		52. 7		2. 7	1	
甲信越	12月	4. 8	I	6. 5	I	54.8	I	6. 5	Α	
	3月	0.0	Ţ	1. 6	Ţ	51.6	1	9. 7	1	
11. 154	9月	6. 1		12. 1	1	63.6	1	12. 1	ļ	
北陸	12月	8.8	1	2. 9		55. 9 -	1	5. 9		
	3月 9月	2. 6 5. 6		2. 6 5. 2		64. 1 51. 2		5. 1 5. 2		
東海	12月	3.3		3. 3		53.9		5. 8		
木海	3月	6. 0		7. 3	1	57. 3	1	5. 6		
	9月	5. 4		4. 7		55. 7		4. 7		
うち愛知県	12月	2 9		2.1		54.3		6. 4		
7 32/11/10	3月	2. 9 ~ 5. 7		7. 1	1	63.6	1	5. 0		
	9月	5. 9		9.0	1	54. 1		7. 5		
近畿	12月	3. 7		6.0	*	52. 1		7. 4		
	3月	5. 6		7. 7		53. 1		9. 2		
	9月	5. 4		7. 8		52. 7		8. 4		
うち大阪府	12月	2.4	1	4.8	·····	50. 9 ~		7. 2	v	
	3月	6. 3	- 1	8.0	1	53.4		9. 2		
l. <u> </u>	9月	1.1		9.6	1	43.6	1	5. 3	1	
中国	12月	2.0		5.0		48.0	1	9.0	<u> </u>	
	3月	2. 8		4. 7		55. 7 42. 5		3.8		
四国	9月 12月	0. 0 8. 7 ~	1	2. 5	1	42. 5 63. 0 ~	1	2. 5 13. 0	1	
드프	3月	4. 5	Ţ	11.4		45. 5	1	13. 6		
	9月	4. 8		2. 9		58. 7	1	7. 7		
北九州	12月	5. 9		2. 9		49.0		5. 9		
	3月	6. 7		9. 5	1	55. 2	1	7. 6		
	9月	8. 6		11. 4	1	51.4		8. 6		
南九州	12月	7.4		5.9	*	50.0		5. 9		
	3月	3. 3	Ţ	3. 3		43. 3	1	5. 0		

全体±5%pt以上に網掛け

9~12月、12~3月で±3%pt以上の差がある場合に数値右側に上下矢印

#### 4-- 働き方の変化

#### 1 増加した働き方

感染拡大前(昨年1月頃)に比べて増加した行動についてみると、南関東および東京都では「在宅 勤務などのテレワーク」「オンライン会議や打合せ」が3時点とも一貫して高くなっているほか、第2 回調査を実施した昨年9月には東京都で「労働時間」が、大阪府で「在宅勤務などのテレワーク」が 高くなっている。また、第3回調査を実施した昨年12月時点では南九州で「勤務先への出社」が、北 関東で「上司や部下、同僚との会食」が、甲信越で「労働時間」がそれぞれ高く、第4回調査を実施 した今年3月時点では北関東で「勤務先への出社」「オンライン会議や打合せ」「上司や部下、同僚と の日常的なコミュニケーション」がそれぞれ高くなっている。

3時点間の変化に着目すると、「勤務先への出社」は9月から12月にかけては北海道、甲信越では 減少、南九州では増加し、12月から3月にかけては北海道、東北、北関東、中国で増加する一方で南 九州では減少している。一方、「在宅勤務などのテレワーク」は9月から12月にかけては北関東、近

畿および大阪府で減少していたものが12月から3月にかけては北海道、東北、北関東、大阪府、北九 州で増加する反面、「オンライン会議や打合せ」は東京都、中国で増加から減少に転じている。

図表 5 増加した働き方

(単位・06)

														(里位	ī:%)
		勤務先へ	の出社	在宅勤務	などの	オンライ	ン会議	上司や語	下、同	上司や部	下、同	出引	Ę	労働時	<b>計間</b>
				テレワ	ーク	や打合	àせ	僚とのE	常的な	僚との	会食				
				, , ,		` ' ' '	-	그ミュ							
	9月	8.8		16.8		22. 5		4. 6		3.4		2. 6		9. 9	
全体	12月	8. 6		15. 5		24. 1		5. 4		4. 3		2. 6		9. 7	
	3月	9.4		17. 5		22. 6		4. 1		4. 3		2. 6		9. 2	
	9月	8. 4	1	10.8		10.8	1	0.0	1	0.0	1	4. 8	1	4. 8	1
北海道	12月	3.8		10.1		17. 7		5. 1		3.8	······	0.0	*	8.9-	
	3月	10.3	1	14. 1	1	16. 7		1. 3	ļ	5. 1		0.0		7. 7	
	9月	6.6		5. 3		19. 7		5. 3		5. 3		3. 9		5. 3	
東北	12月	6.3		5.0		17. 5		2. 5		2. 5		2. 5		6.3-	
	3月	13. 4	1	15. 9	1	13. 4	Ţ	4. 9		8. 5	1	4. 9		7. 3	
	9月	9.8		14. 8	1	18. 0	1	1. 6		1.6	1	3. 3		11. 5	1
北関東	12月	11. 5		11.5		26. 9		3.8		9. 6		5. 8 5. 7		7.7	
	3月	17. 0	1	17. 0	1	28. 3		11. 3	Î	5. 7	ļ	5. 7		9. 4	
	9月	8. 1		24. 6		28. 8		3. 8		3. 3		1. 9		11. 7	
南関東	12月	7.7		23.0		30.8		6. 7		4. 4		2. 3		11. 5	
	3月	8.3		24. 2		28. 6		3. 6	ļ	3. 6		2. 6		10. 5	
	9月	8. 5		30. 5		35. 0	1	2. 3	1	1.1	1	1. 1		15. 3	
うち東京都	12月	6. 1		31. 7		39. 4	i	8.3	I	5. 6		1. 7		14. 4	
	3月	7. 2		29. 9		33. 5	1	4. 6	Ţ	2. 6		1. 5		13. 4	
	9月	10.9	1	16. 4		21. 8		3. 6		1.8		0.0		14. 5	
甲信越	12月	6.4		14. 9		21.3		4.3		0.0		0.0		17. 0	
	3月	4.4		15. 6		24. 4	1	2. 2		6. 7	1	2. 2		8. 9	ļ
	9月	0.0	1	10. 7	1	14. 3	1	7. 1	1	0.0	1	7. 1	1	7. 1	1
北陸	12月	7.7	I	7.7		23.1	I	11.5	I	3.8		0.0	***************************************	3.8	Α
	3月	3.4	1	10. 3		6. 9	1	0.0	1	6. 9		0.0		6. 9	I
	9月	10.9		15. 5		24. 1		8. 0	1	4. 6		1.1		7. 5	1
東海	12月	9. 1		15.3		22. 7		2. 8		4. 0		2. 8		11. 9	
	3月	7. 5		14. 3		23. 6		3. 7		1.9		1. 2		9. 9	
	9月	7.9		15. 8		24. 8		6. 9	1	3. 0		0.0		6. 9	1
うち愛知県	12月	9.8		14. 7		25. 5		2. 0	<b>*</b>	2. 9		2. 0		14. 7	
	3月	10.0		17. 0		27. 0		5. 0	1	2. 0		1.0		12. 0	
	9月	9. 2		16.4	Ţ	18. 3		5. 3		3. 1		3. 1		12. 6	1
近畿	12月	10.8		12.9		18. 3		5. 7		5. 4		3. 9	***************************************	7. 9	
	3月	10.5		14. 7		18.0		4. 1		5. 3		2. 6		9.0	
~ /	9月	10.4		22. 6	ļ	21. 7	1	4.7		4. 7		4. 7		11. 3	ļ
うち大阪府	12月	10.3		12.1	1	18. 7		3.7		3. 7		2.8		6.5	
	3月	9.5		17. 1		21.0		1.0		2. 9		1.0		5. 7	
	9月	7. 2		10.1		23. 2	1	2. 9		7. 2		2. 9		5. 8	
中国	12月	5.8	1	11.6		27. 5	1	5.8		5. 8	<b></b>	0.0		4.3	1
	3月	10.1		13. 9		21.5	*	5. 1		1.3	*	2. 5		7. 6	
m@	9月	14.8	1	7.4		18. 5	1	3.7	1	3.7	1	0.0	1	7.4	1
四国	12月	6. 7 3. 6	J	6. <b>7</b> 10. 7	1	23. 3 21. 4		0.0		0. 0 0. 0		6. 7		<b>0.0</b> 0.0	
	3月		*		1			0.0				0.0	*		•
-112 + 1141	9月	9.7		6. 9		15. 3		6. 9		5. 6		4. 2 1. 5		8.3	1
北九州	12月	12. 1 11. 4		6. 1 10. 0	1	16. 7 14. 3		4. 5 7. 1		3. 0 7. 1	1	4.3		13. 6 8. 6	1
	3月 9月			9. 6	-	23. 1		7. I 5. 8		1.9	<u>'</u>	3.8		5. 8	•
		7.7	1	16.7	1	25.0		8.3		2.1				5. 8 8. 3	
南九州	12月	14.6	1		1	20.0						4. 2 4. 5			
	3月	11.4	*	11.4	*	22. 7		6.8		4. 5		4. 5		9. 1	

全体±5%pt以上に網掛け(北陸、四国の9月、3月および北陸の12月はサンプルが限られるため参考値)

#### 2 減少した働き方

感染拡大前(昨年1月頃)に比べて減少した行動についてみると、南関東および東京都で「勤務先 への出社」が3時点とも一貫して高く、第2回調査を実施した昨年9月時点では大阪府で「勤務先へ の出社」が、中国で「在宅勤務などのテレワーク」「オンライン会議や打合せ」が、甲信越、南九州で 「上司や部下、同僚との日常的なコミュニケーション」が高く、南関東および東京都では「上司や部 下、同僚との日常的なコミュニケーション」、甲信越では「出張」も、東京都、愛知県、大阪府では「労 働時間」も高い。また、第3回調査を実施した12月時点では東京都、甲信越、四国で「上司や部下、 同僚との日常的なコミュニケーション」が、北海道、東京都、南九州で「上司や部下、同僚との会食」 が、東京都、甲信越で「出張」がそれぞれ高く、第4回調査を実施した今年3月時点では大阪府で「在

<sup>9~12</sup>月、12~3月で±3%pt以上の差がある場合に数値右側に上下矢印

宅勤務などのテレワーク」「上司や部下、同僚との日常的なコミュニケーション」が、東海および愛知 県で「上司や部下、同僚との会食」が、中国で「労働時間」が高い。

3時点間の変化に着目すると、「勤務先への出社」は東北、東京都、東海および愛知県、近畿および 大阪府で9月から12月にかけて減少した後、北関東、東海および愛知県、大阪府で増加に転じてい る。また、「上司や部下、同僚との日常的なコミュニケーション」は北海道、北関東、甲信越など8地 域で9月から12月にかけて増加した後、北関東、南関東および東京都など6地域で減少し、「上司や 部下、同僚との会食」は北海道、東京都、東海、大阪府、北九州で9月から12月にかけて、北関東、 甲信越、東海および愛知県、近畿、中国では12月から3月にかけて、それぞれ増加している。

図表 6 減少した働き方

														(単位	立:%)
		勤務先へ	の出社	在宅勤務	などの	オンライ	イン会議	上司や部	下、同	上司や部	下、同	出	長	労働田	寺間
				テレワ		や打	合せ	僚との日	常的な	僚との	会食				
				' '	•	'''		コミュニ		JA					
	9月	22. 3		7. 2		3. 1		22. 9	$\uparrow \rightarrow$	34. 9		22. 3		23. 9	
全体	12月	19.8		6.6		4.0		26.4	•	36.6		24. 0		23. 1	
	3月	19. 3		4. 5		3. 6		25. 9		38. 7		24. 2		23. 2	
	9月	15. 7		2. 4	1	4. 8	↓ ↓	18. 1	1	32. 5	1	14. 5	1	20. 5	
北海道	12月	15. 2		6.3		0.0	1	25. 3		43.0		22. 8		20. 3	
	3月	12. 8		6. 4		5. 1	1	25. 6		41.0		17. 9	<b>1</b>	19. 2	
<u></u>	9月	21. 1	1	7. 9		2. 6		22. 4		38. 2	1	19. 7	1	26. 3	1
東北	12月	11. 3		5.0		1.3	1	23. 8		30.0		28. 8	1	18.8	1
	3月	12. 2		4. 9 4. 9		6.1		22. 0		31. 7		24. 4	*	24. 4	<del>'</del>
北関東	9月 12月	14. 8 13. 5		4. 9 7. 7		1. 6 3. 8		14. 8 28. 8 =	1	29. 5 28. 8		24. 6 19. 2	Ţ	19. 7 13. 5	ļ
北闰果	3月	17. 0	1	3.8	ļ	0.0	J	28.8	1	39.6	1	22. 6	1	18. 9	1
	9月	29. 9		7. 9		4. 0		29. 6		39. 7	· ·	23. 2	1	24. 0	
南関東	12月	27. 8		7.5		4. 2		31.4		39.3		26. 8	l	24. 1	
TINA	3月	26. 6		3. 8	1	2. 8		28. 2	$\downarrow$	39. 5		24. 8		23. 2	
	9月	37. 3	1.	9. 6		5. 6		40. 1	1	37. 9	1	24. 9	1	29. 4	1
うち東京都	12月	30. 0	*	8.9		2.8		36. 1	•	43. 3		29. 4	<u>'</u>	25. 6	*
	3月	29. 9		3. 1	Ţ	2. 1		29. 4	1	40. 7		28. 9		26. 8	
	9月	20. 0		1.8		1.8		20. 0	1	41.8	1	29. 1		21. 8	
甲信越	12月	21. 3		2. 1		2. 1		34. 0		34.0		29. 8		21. 3	
	3月	15. 6	1	4. 4		2. 2		20. 0	1	42. 2	1	28. 9		17. 8	1
	9月	14. 3		3. 6	$\downarrow$	3. 6	1	7. 1	1	17. 9	1	21. 4		10. 7	1
北陸	12月	11. 5	1	0.0	1	0.0	1	11.5	1	26. 9	1	19. 2		23. 1	
	3月	3. 4	-	3.4	- 1	3.4		20. 7		44. 8	-	20. 7		24. 1	
<b>市</b> 海	9月 12月	21. 3 16. 5	$\downarrow$	5. 2 4. 5		1. 1 2. 8		16. 7 24. 4	1	30. 5 35. 2	1	24. 7 22. 2		28. 2 27. 3	
東海	<u>  4月</u>  3月	21. 1	1	3. 7		1. 2		30. 4	1	45. 3	1	22. Z 25. 5	1	24. 2	1
	9月	24. 8	<u>.</u>	5. 0		0.0	-	15. 8	· 1	35. 6	- '	26. 7	-	29. 7	· ·
うち愛知県		15. 7	<u> </u>	4.9		2.0	£	27. 5	I	34. 3		22. 5	<b>↓</b>	23. 5	<del>\</del>
ノラダルバ	3月	22. 0	1	2.0		0.0		29. 0		50.0	1	26. 0	1	21. 0	
	9月	23. 3	1	8.8		1.1		22. 9	1	32. 4		19. 1		26. 0	
近畿	12月	17. 2	······	7. 5		6.8	<u>'</u>	19. 7	······	34. 1		20. 4		26. 2	
	3月	18. 8		6.0		6.0		25. 9	1	38. 0	1	24. 8	1	25. 6	
	9月	30. 2	1	8. 5		0. 9	1	27. 4	1	30. 2	1	18. 9		30. 2	1
うち大阪府		15. 9 ~	·····	7.5-		4.7		20. 6	······	36.4		21. 5	**************************************	20. 6	
	3月	22. 9	1	10. 5		7. 6		31. 4	1	38. 1		28. 6	1	26. 7	1
	9月	14. 5	1	14. 5	1	8. 7	↓ ↓	26. 1	1	29. 0		21. 7		26. 1	
中国	12月	18. 8		4.3		2.9		30.4		30.4	1	21. 7	***************************************	26. 1	1
	3月	17. 7		3.8		1.3		24. 1		38.0		21.5		30. 4	
m <b>=</b>	9月 12月	11. 1 10. 0		7. 4 6. 7		7.4	↓	18. 5	1	18. 5 40. 0	1	29. 6 26. 7		14. 8 <b>26. 7</b> -	1
四国	3月	3.6	1	3.6	1	0.0	J	33. 3 - 7. 1	1	32. 1	1	26. <i>1</i> 39. 3	1	26. 7 25. 0	
	9月	12. 5	*	6. 9		2. 8	•	15. 3	•	33. 3	•	22. 2	•	19. 4	
北九州	12月	15. 2		10.6	1	6.1	1	19. 7	1	40. 9	<u> </u>	21. 2		13. 6	<u> </u>
70/0/11	3月	7. 1	$\downarrow$	5. 7	$\downarrow$	7. 1		25. 7	1	25. 7	$\downarrow$	21. 4		18. 6	1
	9月	7. 7	1	5. 8		1.9		19. 2	1	44. 2		26. 9		21. 2	1.
南九州	12月	12. 5	······	8.3		4. 2	<u> </u>	27. 1 -		45.8		25. 0		10. 4	······································
	3月		1	2. 3	ļ	4. 5		20. 5	ļ	36. 4	ļ	18. 2	$\downarrow$	13. 6	1

| 3月| 6.8| ↑ | 2.3| ↑ | 4.5| | 20.5| ↑ | 36.4| 全体±5%pt以上に網掛け(北陸、四国の9月、3月および北陸の12月はサンプルが限られるため参考値) 9~12月、12~3月で±3%pt以上の差がある場合に数値右側に上下矢印

#### 5- 生活時間の変化

#### 1 増加した生活時間

感染拡大前(昨年1月頃)に比べて増加した生活時間についてみると、第2回調査を実施した昨年

9月時点では東京都で「家事時間」「家族と過ごす時間」が、南九州で「休養・くつろぎ時間」が高く、 第3回調査を実施した昨年12月時点では北関東で「食事時間」が、中国で「休養・くつろぎ時間」「趣 味や娯楽、スポーツ時間」が、北陸で「家族と過ごす時間」が高い。また、第4回調査を実施した今 年3月時点では北関東、東京都で「睡眠時間」が、北関東で「食事時間」「休養・くつろぎ時間」が、 東京都、甲信越で「家事時間」が、中国で「趣味や娯楽、スポーツ時間」が高く、北関東、東京都、 北陸、東海および愛知県では「家族と過ごす時間」が高くなっている。

3時点間の変化に着目すると、北関東では「睡眠時間」「一人で過ごす時間」が、甲信越では「家事 時間」が、北陸では「家族と過ごす時間」が、それぞれ一貫して増加し、北陸で「交際やつきあい時 間」が、南九州で「家事時間」「休養・くつろぎ時間」が、それぞれ一貫して減少している。

図表 7 増加した生活時間

(単位:%)

									(単位:%)
		睡眠時間	食事時間	家事時間	休養・	趣味や娯楽、	交際や	家族と	一人で
					くつろぎ時間	スポーツ時間	つき合い時間	過ごす時間	過ごす時間
A 44	9月	15. 5	9.4	24. 2	26. 4	14. 1	5. 1	29. 5	22. 5
全体	12月	16.3	11.0	23. 2	25. 4 25. 0	14. 5	5. 2 4. 3	29. 3	22. 4
	3月 9月	16. 8 15. 2	11. 1 12. 0	19. 2	25. 0	14. 3 9. 6	4. 3 2. 4	29. 5 19. 2 ↑	23. 6 17. 6
北海道	9月 12月	12. 5	12.0 ↓	20. 0	21. 7	10.0	4. 2	19. 2 25. 0	19. 2
北/再坦	3月	16. 1 ↑	5. 1	16. 9 ↓	22. 0	11. 9	2. 5	19.5 ↓	20. 3
	9月	17. 0	10. 7	26. 8	24. 1	10. 7	4. 5	22. 3 ↑	24. 1 <u>1</u>
東北	12月	14. 4	7.6	26. 3	20. 3	13. 6	3. 4	25. 4	16. 1
7(-10	3月	16. 1	7. 6	21. 2 ↓	26. 3 ↑	18. 6 ↑	5. 9	22. 9	22.9 ↑
	9月	13.6 ↑	12. 3 ↑	16.0 ↑	25. 9	12. 3 ↑	3. 7 ↑	28. 4	14.8 ↑
北関東	12月	18. 2	16. 9	23. 4	23. 4	16. 9	7. 8	31. 2	18. 2
	3月	23. 3	19. 2	26. 0	30. 1 ↑	15. 1	8. 2	35. 6 ↑	27. 4 ↑
	9月	15. 6 ↑	9. 2	28. 4 ↓	27. 8	14. 3	4. 2	34. 3	24. 5
南関東	12月	18. 8	12.1	25. 0	28.3	14. 4	5.0	32. 9	24. 9
	3月	19. 6 17. 9	12. 8 9. 6 ↑	25. 5 30. 3	26. 5 25. 9	13. 7 14. 3	3. 9 3. 2	32. 3 36. 3	23. 9 25. 9
うち東京都	9月 12月	18.4	9.6 ↑ 12.7	28. 1	26. 2	15. 0	6.0	33. 7	25. 9
) りを果まか	3月	22.9	13. 8	31. 3 ↑	26. 2	15. 0	3. 3	34. 5	23. 6
	9月	16. 2	6.8	21.6 ↑	28. 4	6.8 ↑	2. 7	29. 7	24. 3 I
甲信越	12月	16. 1	9. 7	27. 4	22. 6	12. 9	1.6	30. 6	19. 4
. 11.00	3月	14. 5	9. 7	32. 3 ↑	29. 0 ↑	12. 9	4.8 ↑	24. 2 ↓	22. 6 ↑
	9月	15. 2	6. 1	18. 2	15. 2	9. 1	9.1 ј	24. 2 ↑	15. 2
北陸	12月	8.8	5. 9	11.8	17. 6	11.8	5.9	35. 3	14. 7
	3月	15. 4 ↑	7. 7	12. 8	12. 8 ↓	7. 7 ↓	2. 6 ↓	38. 5 ↑	25. 6 ↑
<u> </u>	9月	15. 1	10.3	23. 4 ↑	30. 2 ↓	17. 5	7. 5	29. 4	21. 0 ↑
東海	12月	16. 9	12.3	27. 2	25. 1	14. 8	6. 2	29. 6 37. 5. ↑	24. 7
	3月	15. 5 16. 8	11. 6 8. 7	28. 0 26. 2	27. 2	15. 5	4. 3 8. 1	07.0	22. 8
うち愛知県	9月 12月	15. 0	10. 7	26. 4	28. 2 20. 0	18. 1 12. 9	8.1 ↓ 5.0	28. 9 27. 9	16. 1 22. 1
ノラを州示	3月	16. 4	10. 7	26. 4	25. 0 ↑	12. 9	3. 6	37. 1 ↑	22. 1
	9月	16. 5	9.8	23. 7	25. 5	17. 3	6. 2	30. 2	22. 2
近畿	12月	14. 6	11. 7	21. 6	24. 3	16. 6	5. 2	28. 5	20. 8
	3月	14. 0	10. 5	24. 7	23. 7	14. 8	5. 1	29. 1	24. 5 ↑
	9月	19. 2 ↓	10. 2	28. 1 ↓	27. 5 ↓	15. 6	6. 6	29. 3 ↓	24. 6 ↓
うち大阪府	12月	14. 4	12. 6	24. 0	19.8	16. 2	3. 6	22. 8	18.6
	3月	13. 2	10.9	25. 9	27.78	13. 8	5. 7	23. 6	20.4
<b>.</b>	9月	18. 1 15. 0	5. 3 ↑ 13. 0	19. 1 22. 0	24. 5 ↑ 34. 0	13.8 ↑	4. 3 6. 0	22. 3 ↑	23. 4 27. 0
中国	12月 3月	17. 0	10.4	26. 4 1	23. 6 ↓	20. 0 20. 8	3.8	31. 0 24. 5 ↓	27. 0
	9月	7.5 ↑	2.5 ↑	20. 4	12. 5 ↑	7. 5	10.0	12. 5 ↑	17. 5
四国	12月	15. 2	8. 7	21. 7	26. 1	8. 7	8. 7	26. 1	19. 6
	3月	11. 4 ↓	2. 3 ↓	18. 2 ↓	22. 7 ↓	6. 8	2.3 ↓	20. 5 ↓	19. 6 22. 7 ↑
	9月	11.5 ↑	8. 7	18. 3 ↓	26. 0 ↓	11. 5	3. 8	31. 7 L	23. 1
北九州	12月	14. 7	5.9	14. 7	20. 6	12. 7	2. 9	18.6	21. 6
	3月	12. 4	13. 3 ↑	21. 9	21.0	13. 3	4.8	21.9	21.0
<b>+</b> +	9月	18. 6	10.0	24. 3	32.9	15. 7 ↓	7. 1	27. 1	27. 1 ↓
南九州	12月 3月	16. 2 16. 7	7. 4 10. 0	16. 2 11. 7 ↓	22. 1 18. 3	10. 3 10. 0	7. 4 3. 3 ↓	19. 1 20. 0	23. 5 26. 7
i l	υЯ	1 10.71	1 10.01	11./1	10.3	I IU.U!	າ ວ.ວ≗ *	20.01	1 20.71

全体±5%pt以上に網掛け

9~12月、12~3月で±3%pt以上の差がある場合に数値右側に上下矢印

#### 2 減少した生活時間

感染拡大前(昨年1月頃)に比べて減少した生活時間についてみると、第2回調査を実施した9月 時点では南関東および東京都で「交際やつき合い時間」が、中国で「趣味や娯楽、スポーツ時間」が 高くなっている。また、第3回調査を実施した12月時点では愛知県、四国で「睡眠時間」が、北関東 で「家事時間」が、愛知県で「休養・くつろぎ時間」が、大阪府、北九州で「家族と過ごす時間」が、 それぞれ高く、第4回調査を実施した今年3月時点では北九州で「休養・くつろぎ時間」が、東京都、 東海および愛知県で「交際やつき合い時間」が、北陸で「一人で過ごす時間」が、それぞれ高くなっ ている。

3時点間の変化に着目すると、「交際やつき合い時間」は北海道、北関東、東海および愛知県、近畿 および大阪府、四国、北九州で9月から12月にかけて、甲信越、北陸、中国、南九州で12月から3 月にかけてそれぞれ増加し、東北、東京都、甲信越、北陸、南九州で9月から12月にかけて、北海 道、東北、近畿および大阪府、四国で12月から3月にかけてそれぞれ減少するなど、地域により、ま た時期により変化の方向性が異なっている。

図表 8 減少した生活時間

(単位:%)

					<b>从美</b> .	まま とき	交際や	安佐し	(単位:%)
		睡眠時間	食事時間	家事時間	休養・	趣味や娯楽、		家族と	一人で
		11.03	7.11		くつろぎ時間	スポーツ時間	つき合い時間	過ごす時間	過ごす時間
A 44	9月	11.0	7. 1	6. 1	10.4	21. 7	45. 9	10.1	15. 7
全体	12月 3月	11. 7 10. 7	6. 3 6. 5	6. 6 7. 0	10. 3 10. 5	20. 0	48. 0 46. 6	11. 7 10. 9	15. 6 14. 3
			4.8					7. 2	9. 6
小汽送	9月	10.4 ↑ 16.7	5. 0	4.0 ↑ 7.5	4.8 ↑ 9.2	22. 4 20. 8	42. 4 ↑ 52. 5	8.3	12.5
北海道	12月	7.6 ↓	2.5	7. 5 5. 9	9. 2	16.9 ↓	45.8 ↓	10. 2	5. 1 ↓
	3月 9月	8. 9		6.3	8. 0	21. 4	40.0	13. 4	15. 2
東北	12月	11.0	8.9 ↓ 5.1	4. 2	10. 2	14.4	49. 1 45. 8	11. 0	16. 1
木心	3月	11. 9	8.5 ↑	7.6 ↑	8. 5	14. 4	36. 4 ↓	13. 6	12. 7 ↓
	9月	6. 2	6. 2	2.5 ↑	4. 9 ↑	13. 6 ↑	38. 3 ↑	8. 6	18. 5
北関東	12月	9. 1	3. 9	13. 0	9. 1	19. 5	48. 1	7. 8	16. 9
	3月	9. 6	5. 5	5.5 ↓	8. 2	20. 5	45. 2	9. 6	16. 4
	9月	11.5	6. 8	5. 1	11. 7	23. 4	51. 7	10. 7	17. 2
南関東	12月	11. 6	5. 5	6. 3	9. 9	23. 0	50. 3	12. 1	15. 4
	3月	10. 5	6. 4	7. 1	10. 5	22. 7	47. 7	11.5	16. 2
	9月	13. 1	6. 8	4. 8	12. 4	22. 3	55. 0 <sub>I</sub>	12.4 ↑	18. 3
うち東京都	12月	14. 6	4. 5	6. 4	10. 9	22. 5	50. 6	15. 4	17. 6
	3月	10. 9 ↓	7. 3	4. 0	10. 5	23. 6	52. 0	10.9 ↓	16.0
	9月	12. 2	5. 4	8.1	8.1 ↑	25. 7	37. 8	6.8 д	12. 2
甲信越	12月	11. 3	4. 8	4. 8	11.3	14. 5	33. 9	1.6	11. 3
	3月	11. 3	4. 8	1.6 ↓	3. 2 ↓	21.0	41.9 ↑	8. 1 ↑	9. 7
	9月	3. 0 ↑	6. 1	6. 1 J	6.1 ↓	24. 2	39. 4 ↓	3. 0 ↓	3. 0 ↑
北陸	12月	8. 8	5. 9	2. 9	2. 9	20. 6	35. 3	0. 0	11.8
	3月	7. 7	5. 1	2. 6	10. 3 ↑	20. 5	48. 7 ↑	0.0	20. 5 ↑
	9月	11.1 ↑	6. 0	7. 9	11. 5	17. 5	42. 1 ↑	9. 1	16. 3
東海	12月	14. 8	7. 0	5.3	13. 6	19. 3	49. 0	11.9	15. 6
	3月	10.8 ↓	6. 5	8.6 ↑	11. 6	20. 7	51. 7	9. 9	15. 5
	9月	11. 4 ↑	6. 0	7. 4	12.8 ↑	20. 8	42. 3 ↑	9.4 ↑	18. 8
うち愛知県	12月	18. 6	7. 9	6. 4	18. 6	20. 0	51.4	14.3 10.7 ↓	16. 4
	3月	10.7	6. 4	8. 6		22. 1	52. 9	10.7	15. 0
3 m 414	9月	14. 7 ↓	9. 3	9.3	11. 9	23. 7	46.6 ↑	10.8 ↑	16. 8
近畿	12月	11. 2	8. 4	7. 2	12. 4	21.8	50. 6	14. 4	19.4
	3月	11. 7	7. 4	6.4	11.0	19.4	46. 4 <sup>↓</sup>	11.5	14. 0
: + + m +	9月	15. 0 ↓	9.0	9.0	9.0 ↑	24. 6	46.1 ↑	9.6 ↑	12.6 ↑
うち大阪府	12月 3月	10. 2 9. 8	7. 8 6. 9	7. 2 5. 2	12. 6 9. 2	21. 6 21. 8	52. 7 42. 5 ↓	18.0	16.8 11.5
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			0.2		12.0	11.0	
中国	9月 12月	12. 8 9. 0	10. 6 5. 0	7. 4 8. 0	12. 8 6. 0	27. 7 14. 0	41. 5 41. 0	9. 6 12. 0	16. 0 ↓ 11. 0
<b>丁酉</b>	3月	10. 4	9.4 ↑	7.5	10. 4 ↑	18.9 ↑	50. 0 ↑	9.4	13. 2
	9月	0.0 ↑	5.0 ↑	2.5 ↑	12. 5	22. 5	40.0 ↑	12. 5 <u>1</u>	15. 0 ↑
四国	12月	19. 6	8.7	8.7	10. 9	17. 4	47. 8	8. 7	19.6
	3月	11.4 ↓	4.5 ↓	9. 1	11. 4	20.5 ↑	38.6 ↓	6.8	4.5 ↓
	9月	5. 8	3.8 ↑	1.0 ↑	9. 6	16. 3	39. 4 ↑	9.6 ↑	15. 4
北九州	12月	4. 9	7. 8	8.8	6. 9	16. 7	44. 1	19.6	13. 7
	3月	12. 4 ↑	5. 7	10. 5	16. 2 ↑	21.0	45. 7	12.4 ↓	18.1 ↑
	9月	8. 6	8. 6	4. 3	7. 1	11.4	40. 0 <u>1</u>	11. 4	11. 4
南九州	12月	10. 3	5. 9	1.5	7. 4	10. 3	36.8	8. 8	11.8
1.2. 07.11	3月	10.0	8. 3	5.0 ↑	8. 3	15. 0 ↑	41. 7 ↑	15. 0 1	8.3 ↓
全体±5%ntじ									

全体±5%pt以上に網掛け

9~12月、12~3月で±3%pt以上の差がある場合に数値右側に上下矢印

### 6- 結果の総括

以上みてきたとおり、買い物、食事サービス利用、働き方の3つの局面における生活行動および生 活時間のいずれについても昨年の9月、12月、今年3月の3時点における生活行動はそれぞれ様々に 変化している上、地域によってもそれぞれ異なっていた。時点間の差や地域差はいずれもそれぞれの 時点、それぞれの地域における感染拡大の状況など様々な要因が影響した結果であるとともに、こう した行動が感染拡大の一因にもなっているとも考えられよう。

感染拡大の状況はこのほか、生活上の様々な局面における不安に対する影響としても現れている。 生活不安の状況については稿を改めて提示する。

## **Appendix**

各回の「新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」の地域別のサンプル数は下表のとおりであ る。就労者に限定すると、3時点を通じて北陸で、また、9月および3月調査の四国では、それぞれ サンプル数が30に満たず結果の信頼性に疑義が残るため、「働き方」に関する分析部分では図表中に 参考として掲載するに留め、本文中には記載していない。

図表 9 各回調査における分析に用いたサンプル数

	9月調査	Ē	12月調査	Ē	3月調査	-
		うち		うち		うち
		就労者		就労者		就労者
全体	2066	1438	2069	1430	2070	1431
北海道	125	83	120	79	118	78
東北	112	76	118	80	118	82
北関東	81	61	77	52	73	53
南関東	693	479	696	478	721	496
うち東京都	251	177	267	180	275	194
甲信越	74	55	62	47	62	45
北陸	33	28	34	26	39	29
東海	252	174	243	176	232	161
うち愛知県	149	101	140	102	140	100
近畿	388	262	403	279	392	266
うち大阪府	167	106	167	107	174	105
中国	94	69	100	69	106	79
四国	40	27	46	30	44	28
北九州	104	72	102	66	105	70
南九州	70	52	68	48	60	44